

三重創生ファンタジスタ News

三重創生ファンタジスタ養成に関連した情報をお届けするニュースレターです！

PBL型授業「食と観光実践」 現地学習を実施しました

三重創生ファンタジスタ・オリジナル科目「食と観光実践」の現地学習を、東紀州地域において8月28～30日の2泊3日の日程で実施しました。三重大学22名、四日市大学4名、皇學館大学3名、鈴鹿大学3名の計32名が参加し、各大学の教員6名とともに熊野や尾鷲の現状について理解を深めました。

1日目は熊野市山間部（旧紀和町）の紀和鉦山跡地にある、トロッコ列車と紀和鉦山資料館を訪問しました。鉦山の歴史を学ぶとともに、現在の湯ノ口温泉などをはじめとした観光利用にも生きていることを学びました。

2日目は海側に移動し、漁船の乗船体験や地引網漁を体験させていただき、魚の干物を炙った「梶賀のあぶり」など地域の特産品についても学びました。

3日目はこれら山と海の体験に基づき、1日目に設定した仮説をグループ毎に検証していくワークショップを熊野古道センターで実施しました。



9月9日(月)には、現地学習で得た経験や知識から、履修生が自ら考え問題解決をしようとする発表を事後学習として行いました。詳しくは下記URLよりご覧ください。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/events/20190917shoku.html>

PBL型授業「地域発見型インターン」 現地学習を実施しました

三重創生ファンタジスタ・オリジナル科目「地域発見型インターン」の現地学習を実施しました。

三重大学18名、四日市大学3名の計21名が参加し、COC+事業協働機関を中心とした各地域の防災対策やBCPについて、フィールドワークで学びました。

訪問させていただいた企業及び自治体は以下の通りです。伊勢市防災センター、(株)マスマグループ本社、津市役所危機管理部防災室、(株)百五銀行、(株)モビリティランド、ICDAホールディングス(株)、多気町役場総務課防災係、万協製薬(株)。

それぞれ、防災に関する地理的状況、ネットワーク、交通網等が全く違う状況の場所を現場で学習し、災害時の危険回避や影響力について知ってもらいました。参加した学生達は、普段まったく意識していないが、とても重要な防災意識についてもっと周りにも伝えていきたいと答えていました。



9月6日(月)には、現地学習で得た経験や知識から、履修生が自ら考え防災に対する考えを述べるプレゼンも事後学習として行いました。詳しくは下記URLよりご覧ください。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/events/20190913-chiiki.html>

PBL型授業「医療健康福祉実践」 現地学習を実施しました

三重創生ファンタジスタ・オリジナル科目「医療健康福祉実践」の現地学習を、志摩市において令和元年9月3日～5日の2泊3日の日程で実施しました。三重大学17名、鈴鹿医療科学大学14名の計31名が参加し、志摩市の離島である間崎島の医療やQOLについて、現地住民にインタビューをしながら考えるPBL型授業を行いました。

1日目は志摩市民病院にお邪魔させていただき、地方の総合医療を担う病院の様々な部署を見学しながら学修し、志摩市の抱える医療についての課題を考えるグループワークを行いました。参加した学生は積極的に自分の意見を述べ、活発にディベートを行っていました。

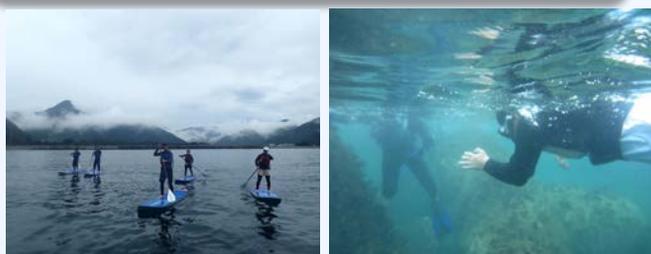
2日目から3日目にかけては間崎島に移動し、離島が抱える問題について、住民へのインタビューを通して考えました。実際に昔から離島に住んでいる方々のお話を伺い、町歩きをすることで、想像もなかった問題や課題が浮かび上がり、どのようにして解決に導いていくのかを、グループごとに話し合っていました。



9月13日(金)には、現地学習で得た経験や知識から、履修生が自ら考え問題解決をしようとする発表を事後学習として行いました。この授業の詳細は下記URLよりご覧ください。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/events/20190927iryou.html>

PBL型授業「自然環境リテラシー学」 現地学習を実施しました！



令和元年8月26～30日(尾鷲市)、9月2～6日(南伊勢町)の2回に分けて、自然環境リテラシー学の現地学習が実施されました。三重大学生物資源学部より48名が受講し、教員・インストラクターの指導の下、アウトドア体験の安全講習や自然景観・風土の成り立ちを含めた説明や、気象条件に合わせたアクティビティの楽しみ方など、三重の自然環境を理解し楽しむためのガイドとしての取組み方・考え方を学びました。

三重県は海と山が近接し、その豊かさを実感できる希少な自然環境を持つ地域です。三重大学で学ぶ学生たちは、この自然環境を理解し、そこでのアクティビティを指導できる立場を目指すことで、三重県の魅力発信を効果的に行うことが出来ます。参加した学生達は教科書に書いてある正解を学ぶのではなく、自然環境からそれぞれが感じたままを表現する能力をつけ、新たに地域活動サークルを立ち上げるなど、この授業をきっかけに非常に積極的に三重県内の地域活動を行っています。

参考：<https://syllabus.mie-u.ac.jp/?action=display&id=23589>

三重ラーニングジャーニー2019 三重の林業を五感で感じるツアー

三重県の魅力的な産業を学ぶ「三重ラーニングジャーニー」令和元年9月19日は去年に引き続き、映画「WOOD JOB!」のロケ地となった林業の町、津市美杉町へ足を運びました。三重大学15名、他2名の計17人が参加し、映画のロケ地を回りながら林業の1次産業及び2次産業を体験しながら学びました。参加者全員が林業界や林学についての知識が無いなか、基礎的な部分も含めプロの方からお話を頂き、現場見学もしながら理解を促しました。山の現場では体験を通じて、知識を経験と共に学修しました。

各々の林業家さんが林業界の抱えている問題や厳しさについて語っていた一方で、将来性や収益の出し方、林業界の素晴らしさについても熱弁をふるっておられました。参加した学生は「時代の流れに沿って、林業も変わっていかなくてはならない事がわかりました。」「私たちがもっと国産材を消費することで林業全体が活気づいてほしいと思いました。」など満足した様子でした。



三重県内の学生チームが 2019 Ene-1 Challengeに参戦!

8月4日(日)、鈴鹿サーキットにおいて開催された2019 Ene-1 Challenge in Suzuka。今年も三重大学と大学間協定校である南台科技大学との国際共同チーム「日台之翼Ene-1 Team」と鈴鹿高専材料工学科4年生の「創造工学チーム」がレースに参戦しました。



このレースは、充電式の単三電池40本を動力に鈴鹿サーキット国際レーシングコース(1周約5.8Km)でタイムアタックを3回行い、その合計タイムを競います。今年107台がエントリーしました。



三重大学の公認サークルである「電気自動車研究会」と南台科技大学の教員・学生が協働して、昨年と同じ車体を使用しての参加となりました。今年のマシンは、練習走行のデータを基にモーターのコイルを改良して性能をアップさせるとともに、モーター制御の見直しに加え回生ブレーキの効果の検証など新しい取り組みも行いました。



鈴鹿高専からは三重創生ファンタジスタ(ベーシック)資格取得のための教育プログラム科目の1つとして開講している「創造工学」の受講生でチームを作り、KV-2クラスにおいて総合3位入賞、KV-2bクラス(大学/高専/専門学校)において優勝の成績を収めました。鈴鹿高専では、今後も「Ene-1Challenge」への参戦など、「創造工学」を通して三重県の魅力を発信できる人材の育成を進めて参ります。

事業協働機関「(株)三重TLO」と 紀北町役場とMSFCの学生が連携

(株)三重TLOと紀北町役場から、紀北町内の物産やサービスなどの新たなブランドとして「きほくもん」を立ち上げるお話を頂きました。このブランドを立ち上げるにあたり、是非学生の意見を取り入れ、外部の目線からのアイデアを出してほしいとのことで三重創生ファンタジスタクラブ(MSFC)のメンバーが新たなプロジェクトに臨みました。

今回依頼のあった「きほくもん」ブランドに手を挙げた紀北町の事業者様は全部で15軒。まずこのプロジェクトにかかわるMSFCのメンバー12人は手分けしてこのすべての事業者様を回り、視察、試食、体験、ヒヤリングを順番に行っていました。現場で得た情報は帰ってから集合し、共有してからアイデア出しやディスカッションを行いました。回った事業者様は、食品からレジャー体験まで多種多様であらゆる魅力が詰まっていました。

今回参加した学生は、全員紀北町に訪れるのは初めてとのことで、「こんな魅力が埋もれているのはもったいない!」「自分たちが知らなかった事を考えると、情報発信はすぐできるが、認識してもらえそうな仕組み作りは簡単ではない」「伝え方とSNSがカギになる」など、活発に意見交換を行っていました。今後10月~12月にかけてこの「きほくもん」ブランドについて話し合い、チラシの作成や提案を行っていく予定です。



参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/activities-of-students/Mie-SFC/>

京都の大学生と三重県の大学生が 協働で地域の子供向けイベント開催!



令和元年9月23日(月)に京都の大学生と三重県の大学生が協働で、子供向けの地域イベントを行いました。企画には立命館大学、同志社大学、追手門学院大学、皇學館大学、三重大学の計5大学の学生が関わり、三重大学からは三重創生ファンタジスタクラブ(MSFC)のメンバーが参加し、企画の中核を担いました。

イベントは津市の正覚寺というお寺を開催地とし、お寺の近隣住民のお子様たちにむけて、カルタや紙芝居、謎解きクイズなど様々な手法で子供たちを楽しませていました。またゲーム感覚で楽しみながら地域を学んでもらえる仕組みも盛り込んでおり、子供たちだけでなく京都の学生やお寺の住職様にも三重県の魅力を知ってもらえました。

当日は心配していた台風も前日に過ぎ去り、良い天気、美杉で切出した竹を使って流しそうめんもして交流を深めていました。参加した子供たちはとても楽しめた様子で、運営にかかわった5大学の学生達も次の企画に向けて意思を固めていました。

参考：<http://www.cocpls.mie-u.ac.jp/activities-of-students/Mie-SFC/r-1report/20190823-msfc-otera.html>

三重大学のオープンキャンパスで 三重創生ファンタジスタについて説明

令和元年8月9日(金)、8月19日(月)、8月21日(水)の三重大学オープンキャンパスに三重創生ファンタジスタクラブの学生が参加しました。先輩学生と語るブースの1角を借り、高校生や保護者に「三重創生ファンタジスタ」やその資格に関する情報を届けました。

ブースには三重大学進学を真剣に考える高校生や地域活動に興味をもつ高校生が訪れ、三重創生ファンタジスタクラブの学生たちは、学生ならではの視点と体験談を交えて、三重大学の魅力や三重創生ファンタジスタ資格の仕組み等について精一杯伝えました。

3日間で計22名の来訪があり、三重創生ファンタジスタ養成事業を大いにアピールすることができました。

